学校番号	1009

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「日本史Ｂ」　（実教出版）						
副教材等	「新詳日本史」（浜島書店）　「新日本史Ｂ新訂版演習ノート」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は単なる暗記ではありません。年号や用語を「理解」しながら「体系的」に覚えていくことが大切です。常にどうしてこんなことが起きたのか、その結果どうなったのかを考えていく習慣を身に付けてください。まず教科書を読みこみ、授業をしっかり聞きましょう。歴史は深い学問ですから、それでもわからないところがたくさん出てくると思います。そういう疑問を仲間や教員と共有し、一緒に解決していきましょう。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

(1)　歴史的諸事象を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。【知識及び技能】

(2)　歴史的事象に関する諸問題について、多様な立場からの見方・考え方を理解したうえで、選択・判断の手掛かりとなる考え方や概念を活用し、史料に基づいて多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、史料を適切に用いて自らの考えを説明する力を身に付ける。【思考力・判断力・表現力等】

(3)　歴史的諸課題についての多様な見方・考え方を公正に理解しようとする態度を培うとともに、 よりよい社会の実現を視野に、日本社会における歴史的諸事象に関心を持ち、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。【学びに向かう力・人間性等】

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の近現代の歴史の展開について、国際環境や生産関係と関連付けて総合的に理解している。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境や生産関係と関連付けて多面的・多角的に考察している。かつ多様な意見を理解し、根拠に基づいてその価値を判断する知性を育んでいる。また史料を適切に活用して考察を深めるとともに、それを表現することができる。	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を持ち、意欲的に探究している。また国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての意識を持ち、意欲的に学習している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	近現代の地域・日本と世界	明治維新	a：対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の時代の転換を理解している。 b：欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 c：幕末の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査	定期考査 発問評価	提出課題 授業態度 小テスト
		近代国家の形成	a：明治維新、自由民権運動、日清・日露戦争を通して、近代的な国民国家が形成されるとともに、アジアや欧米諸国との関係の変化していく過程を理解している。 b：アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、資本主義経済の発展など多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈などを根拠を示して表現している。 c：近代国家の形成に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査	定期考査 発問評価	提出課題 授業態度 小テスト

2		両大戦間の日本	a：第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、国民生活の変化、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 b:第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c：第一次世界大戦とその後の変化に関わる諸事象についての諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査	定期考査 発問評価	提出課題 授業態度 小テスト
		十五年戦争と日本	a：軍部の台頭と対外政策､戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会と人々の生活の変容を理解している。 b：国際社会やアジア近隣諸国との関係､政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などについて、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c：十五年戦争の始まりから敗戦に至るまでの諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査	定期考査 発問評価	提出課題 授業態度 小テスト

3		戦後日本の形成	a: 占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。 b: 第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、国民生活や地域社会の変化などについて、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c: 戦後日本の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査	定期考査 発問評価	提出課題 授業態度 小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度